

2023 6/13

No.2188

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



横浜大空襲から78年の5月29日、50年以上続く「5・29横浜大空襲祈念のつどい」が横浜にぎわい座（横浜市中区）で行われ、参加者は体験談などに聞き入った。



contents

視点点描	3
異次元の子息対策	
特 集	4
今すぐできる身の守り方 熊本地震から学んだこと	
特 集	8
天皇、皇后両陛下結婚30年 雅子さまの思い 感情社会の振幅	
政治双眼鏡	12
対中戦略、「競争」へ転換を G7広島サミット幕、政権の課題	
よんななエコノミー	13
「観光」のチカラ② 地方への経済効果	
かながわTODAY	14
5月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2023年6月の講演会
6月29日(木)午後1時30分
～3時00分

メルヴェーユ「ヴァランセ」
(県民共済プラザビル)

講師：横浜市立大学学長
相原 道子氏

演題：「地域中核・特色ある研
究大学を目指して～横浜
市立大学の現在と未来」

◇2023年7月の講演会
7月12日(水)午後4時～5時
ロイヤルホールヨコハマ(横
浜市中区山下町)

講師：神奈川県知事
黒岩 祐治氏

※講演後、当会の会員交流会
を開催予定。

【お知らせ】2022年度決算総会が
6月5日に開催し、2022年度の
事業報告、収支決算、監査報告な
ど4議案が承認されました。新理
事に横浜銀行元頭取で顧問の川村
健一氏が就任されました。

視点 点描



異次元の子息対策

今は昔、とある鉄道会社（京急や相鉄さんではない）で回送の特急車両に車掌が自分の彼女を招き入れクビになる騒動があった。停車駅での扉の開け閉めが可能なゆえに起きたことで「公私混同も甚だしい」と批判ごうごう。電車は公共物でもあるし当然の反響だ。

さて、岸田文雄首相の長男の翔太郎秘書官、もと元秘書官がまたもや「時の人」となった。昨年末に首相公邸へ親類を招き入れて忘年会を行い、その写真が流出したのだ。問題は撮った場所。第2次岸田改造内閣発足の記念撮影を行った階段や閣議室などだ。当の階段では組閣まがいのパチリにとどまらず、「秘書官のいところ」とされる男性が階段に寝そべり何かを食べている。

「お行儀」以前の問題がある。政府関係者によると、公邸には総理と家族が暮らすプライベート（私的）スペースと執務や迎賓機能を備えたパブリック（公的）スペースが併設されている。後者へはセキュリティカードで解錠しないと入れないが、それを所有できる数少ないスタッフが首相秘書官だ。回送特急の扉を開けて招き入れた構図と一緒だ。

今回の騒動以前に明らかになったのが翔太郎秘書官は年初に首相の外遊に同行。私的な観光をしていたのではないかと批判された。サークル感覚でカギを開けるのだから、誤解を招く行動でも貫けるのだと納得だ。

さすがのお父さんも今回はかばいきれず要職からの更迭を決めた。G7広島サミットの成果を帳消しにし内閣支持率は低迷。このままでは解散総選挙が打てぬと判断したのだろう。「子どものため」と就けた要職を「自分のため」に

解いたわけで、みっともないことこの上ない。

「忘年会」の報道直後、「岸田首相が指導役の秘書官を怒鳴りつけた」との情報が流れた。温厚な性格に照らし、そんなことはなからうと調べると「みんなで気をつけようね」との趣旨の発言はあったようだ。みなさんも想像ください。会社なり団体を危うくするトラブルが発生。その当事者たちがさして謝罪もせず「気をつけましょう」と発言したらどう感じるか。「おまえがいな！」となるだろう。

「失言の閣僚や秘書官はばっさりでも身内は別」との批判からは脱した。だが、「異次元の少子化対策」ならぬ「異次元の子息対策」の失敗は世襲政治の反面教師として語り継がれることだろう。

（神奈川新聞特別編集委員 有吉 敏）